

家紋額 類



家紋は日本人特有の印であり
平安時代から公家や武家の間で広く用いられ
家の出自や経歴等をあらわしました。
森羅万象をとりいれ図案化された紋章は
世界にも類を見ない美しさであり
今日でも日本文化の中に深く浸透しています。

家紋額は、この家紋を
永遠の輝きのダイヤモンドを散りばめること
たいへん美しく高級感のあるように仕上げました。
永年にわたりその輝きを失うことのない
家紋額の最高級品です。

先祖から受け継がれた家紋を
応接間や玄関に掛けてお使いください。
新築、開店祝い等のご贈答品としても最高です。

家紋の歴史

家紋の原形となった文様の歴史は、飛鳥時代にまで遡るとされています。

それから時代が進み平安時代には現在使われている家紋の素材とほぼ同じ文様が使われるようになりました。

家紋の役割がより重要になるのは、室町・戦国時代です。

デザインでも、それまでの写実的なものから象徴的な傾向が強まり、家（戦国集団）を明瞭に表すためや戦場での識別を容易にするうえで重要な役割を果たすことに なります。

現在見る様々な家紋の原形は、この頃にほぼ完成していたと言えるでしょう。

徳川時代になり、大きな戦乱が無くなると、家紋は儀式・儀礼的な役割を増すことになりました。武士の礼服

（袴）にも家紋を付けるようになり、また紋に丸を付けることが多くなったのもこの頃からとされています。また、庶民（町人）の間にも家紋が広がり、武家の家紋を真似したり自ら新しい家紋を作ったりしたことにより、様々な家紋の種類が一気に増えていくこととなりました。

あなたの家紋を
ご存知ですか？

家紋は、いわば家の象徴（苗字）と同じです。

先祖代々伝わってきた家紋を絶やすことなく残しましょう。



永遠の輝きの家紋

あなたの大切な家紋を
『永遠の輝き』のダイヤモンドを
散りばめることで
大変美しく高級感のあるように仕上げ
永年にわたりその輝きを
失うことのない家紋額の最高級品です。



天然ダイヤモンドの意味合い



永遠の輝き

優美性

比類なき輝きは
宝石の王様。

希少性

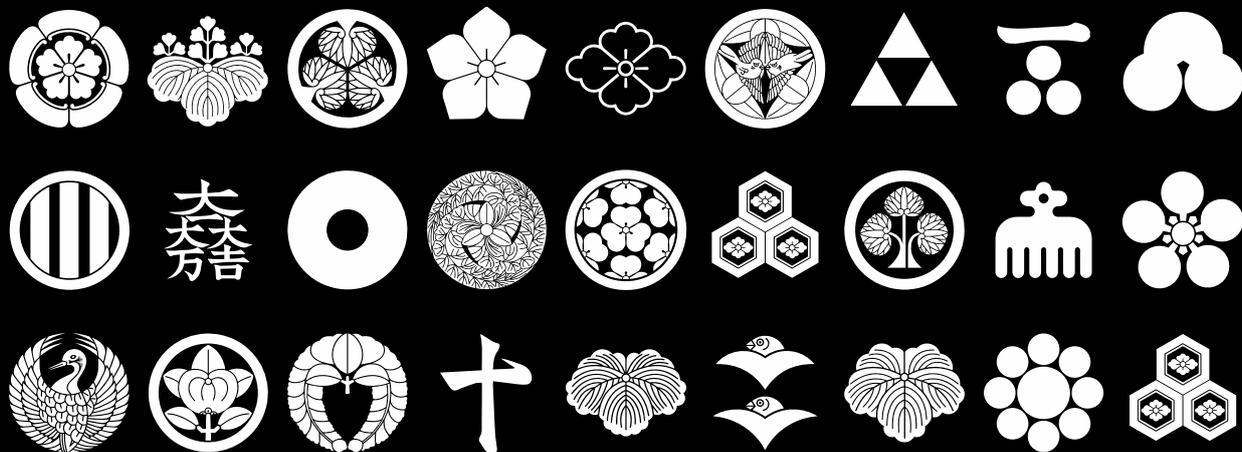
1ctの原石を得る為
100tの岩や石を採掘。

耐久性

地球上で
一番硬い物質。

永遠の富と繁栄の象徴

家紋の意味合い



日本固有の文化



家系

その家の家系。

血統

先から続いている
血の繋がり。

家柄

先祖から受け継いでいる
家の格式。



受け継いだ家の象徴

額装の意味合い



特別な空間



伝達

相手に伝えること。

保存

そのままの状態に
保っておくこと。

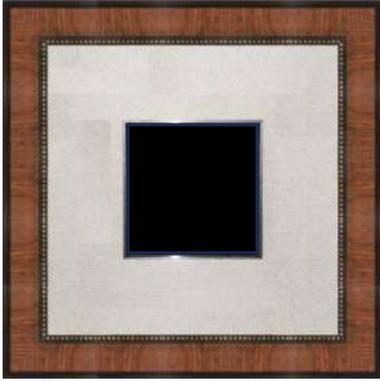
装飾

飾ること。
美しく装うこと。



大切な物を守る象徴

選べる家紋額 壁掛けタイプ



和装額

和装額は渋めの朱色に銀のマットの額は、木のぬくもりが感じられ落ち着いた雰囲気になります。



洋装額

洋装額は重厚感のある茶系に銀のマットで落ち着いた色合の高級感を漂わせます。



シャンパンゴールド

シャンパンゴールドの高級感のある家紋額が上品さを醸し出しております。

壁掛けタイプ仕様

	和装額	洋装額	シャンパンゴールド
家紋額寸法	38cm × 38cm × 3.1cm	38cm × 38cm × 3.1cm	38cm × 38cm × 2.2cm

選べる家紋額 スタンド式タイプ



額はミニスタンド式タイプで用途に合わせて多種多様にご使用いただけます。

(壁掛けとしてもご使用できます。)

立体的なメタリックブラウンとゴールドであしらわれた額縁が、重厚感を醸し出しております。

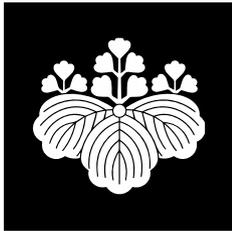
スタンドタイプ仕様

	スタンド式タイプ
家紋額寸法	約14.8cm × 約14.8cm × 約3.3cm
家紋額寸法(イーゼル込み)	約18cm × 約14.8cm × 約12cm

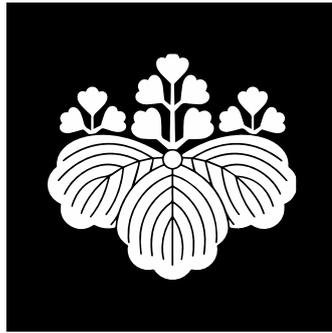
選べる家紋額 カラット数と料金



10ct



20ct



50ct



100ct



家紋枠



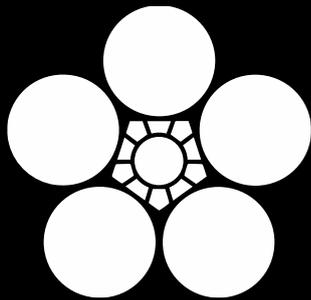
メーカー保証付
※イメージ
多少の変更あり。

カラット数別家紋額仕様

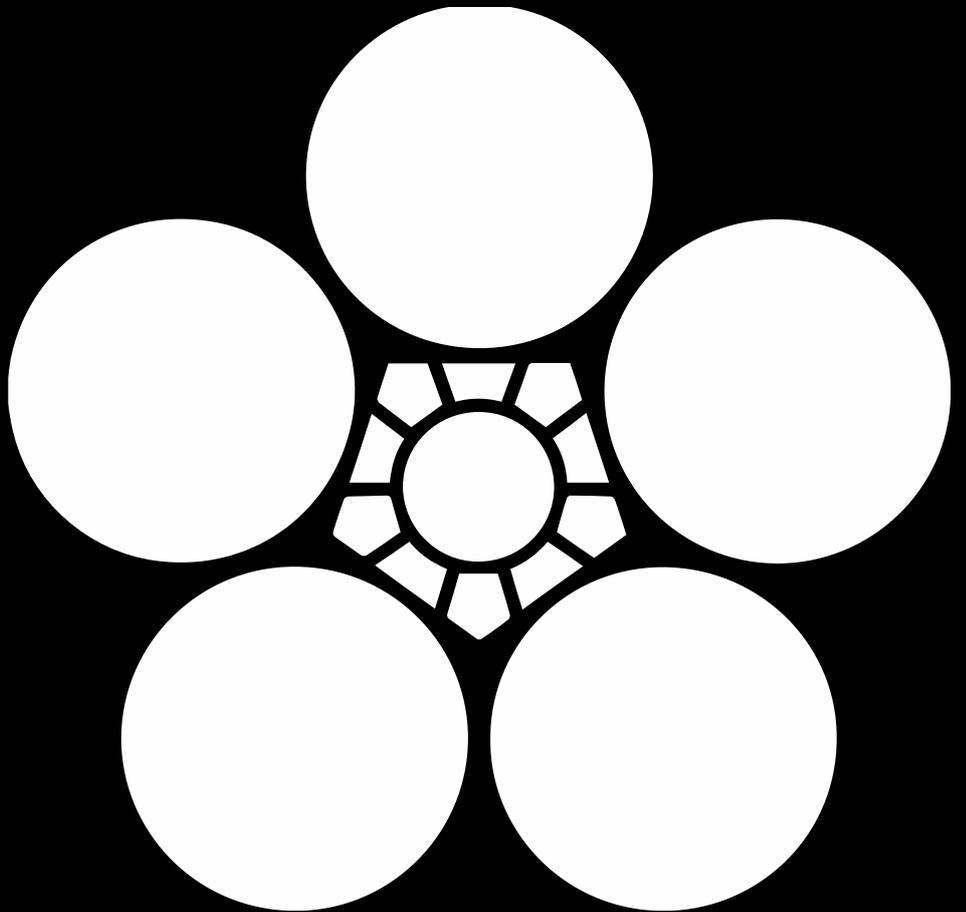
	10ct	20ct	50ct	100ct
家紋枠寸法	7cm × 7cm	9cm × 9cm	13cm × 13cm	16cm × 16cm
メーカー保証	○	○	○	○
販売価格	450,000 (税込)	900,000 (税込)	1,500,000 (税込)	3,000,000 (税込)

※販売価格は家紋の型代込みの価格となります。

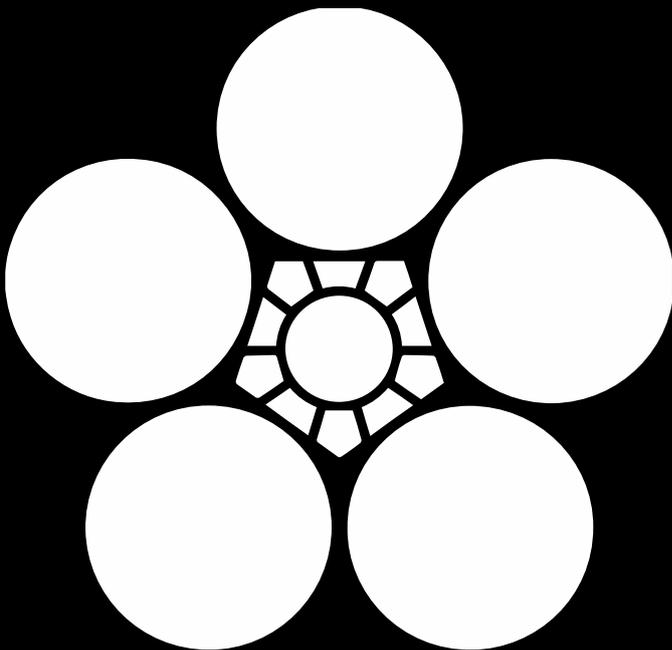
特別注文品実寸サイズ



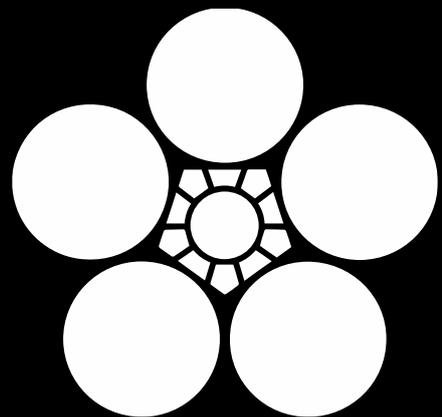
10ct 直径4cm



100ct 直径12.4cm



50ct 直径8.8cm



20ct 直径5.6cm

選べる家紋額

オプション ※別途

お家の繁栄を祈願して

家紋枠内に家名や家紋名をお入れする事が出来ます。

※名前部分にはダイヤモンドが入りません。



家名及び家紋名の文字入れ

文字白抜き。

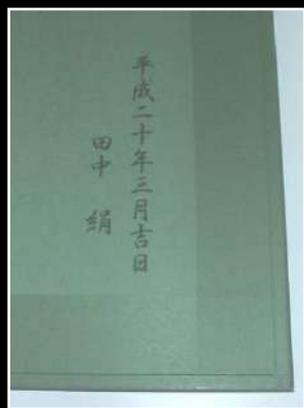


金箔での文字入れ

文字抜きしたガラスに金箔で装飾した特注品。

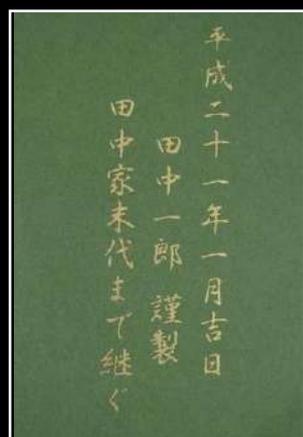
末代まで名を残されるように

額の裏面に日付や名入れを致します。



顔料染め

文字型をつくり黒い顔料で手染め仕上げ。



金粉染め

文字型をつくり金粉で手染めした贅沢な高級仕上げ。

桐箱

保管に最適な桐箱

贈答用にどうぞ。

※文字はお好きな文字が可能。



実際にあったお話 1

1.最近は、自分の家の家紋を知らない人が大変多いです。

先祖代々伝わってきた家紋ですが、最近の生活の中で自分の家の家紋を見たり 話しを聞いたりする機会が少なくなり、自分の家の家紋を知らない方が大変多くなってきています。

2.ご自分の家紋の調べ方。

家紋の調べ方として、着物や仏壇・お墓などを調べてみたらどうでしょうか？ それでも解らない場合は菩提寺なんかに記録が残っていると思いますので 行ってみたいかがでしょうか？

どうしても家紋が分からない場合などは、新しく家紋を作ることも可能です。実際に現代でも新しい家紋の種類が増え続けています。また、在日外国人で家紋を作る方もいます。

3.ご自分の家紋についての由来。

現在、家紋に関しましては、本やインターネットなどで詳しくしる事ができます。ご自分の家紋がどのような由来があるのか、この機会に知ってみてください。家紋で、自分の家系がどの家系だったかも調べる事ができます。

4.どんな方に『ダイヤモンド家紋額』をご紹介すればよいか。

ご息様、もしくは、お孫様がいる方などに特にお勧めいたします。ご息様やお孫様が成長するにつれ、ご先祖様を敬い、受け継いだ家系の大切さを再認識していただく為の証として『ダイヤモンド家紋額』をご提案いたします。また、日本文化の良さを後世に残していく事の大事さを感じていただく為にも『ダイヤモンド家紋額』をご提案いたします。

5.現在、家紋などを受け継ぐ方がいない人の場合。

家紋は伝承する為のものではなく、「ご先祖様への感謝の気持ち」や「生きた証」として後世に残すものでもあります。実際に、「ご自分の生きた証を残したい」ということでご購入頂きました。また、ご結婚された娘様に現在のお母様の家紋を製作しプレゼントするという事もありました。(女紋など)家紋はそもそも昔からその方の家柄を表すという意味合いがあります。

実際にあったお話 2

6.男性のご購入者様が3割近くいます。

家紋は家の象徴ですので、旦那さまのご購入が多いです。

ダイヤモンドのジュエリーに興味のない男性のお客様でも『ダイヤモンド家紋額』のお話させて頂いたところ、ご購入していただきました。

7.お客様個人の物としてではなく、家の宝としてのご購入。

お客様の個人の物としてではなく、家の宝ものとしてご購入いただいています。また、家の行事(初節句・成人祝い・結婚祝い・新築祝い・還暦祝い・法事など)の時に飾りたいという事でご購入される方が多いです。

8.インテリアの一部としてとらえる方も大変多いです。

お客様の中には30代から50代の男性の方でインテリアの一部としてご購入される方もおり、男性のお客様は商品を見ただけで気に入ってしまう方もおりました。

9.ご購入されたお客様で、この様な方もいました。

以前、珊瑚の粉の家紋額をご購入して家に飾っていますが珊瑚の粉が変色し、汚くなってしまった。家紋は家の象徴でもあるので、前からずっと気になっていた。「ダイヤモンドなら変色の心配もなく縁起もいい」ということをご購入していただきました。

10.こんな立派なものを飾る場所がない。

お話を聞くと飾る場所については、どうしても床の間などをイメージする方が多いのですが、現在ご購入される方はリビング等に飾っています。また、玄関は風水学で「気の入り口」とも言われていますので、玄関に飾っている方も多いです。

11.壁をキズつけられない。

そのような方にはスタンドタイプがオススメです。スタンド式は、そんなに場所を取らず立てかける事が出来ます。また、額の裏に金具があるので壁面に飾りたくなった場合でも飾る事は可能です。

実際にあったお話 3

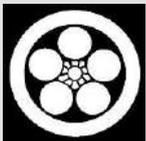
12.以前ご購入されたお客様が違う家紋のご注文

お話を聞きましたところご購入されたお客様が、ご自宅のリビングに飾っていたところ、来客したお客様が『ダイヤモンド家紋額』を見て気に入っていただき『自分のも作ってほしい』ということで、代わりにご注文されたそうです。

13.家紋のサイズについて

価格的な事もあり、お客様に10キャラからお話してしまう場合がありますが実際良く出ている家紋サイズは、20キャラと50キャラです。お話を聞きました所、何個もご購入するものではないのでなく、また家紋のサイズと額のバランスが20キャラと50キャラが一番いいとおっしゃる方が多いようです。

14.今までご依頼の多かった家紋

1位	2位	3位	4位	5位
				
丸に梅鉢	丸に剣片喰	丸に橘	丸に違い鷹の羽	丸に木瓜

15. 今までご依頼の多かった地域

1位	2位	3位	4位	5位
岐阜	大分	富山	鹿児島	大阪

16. 今までご依頼の多かった額

1位

洋総額
(N-002)



2位

スタンド式
(N-005)



3位

シャンパン
ゴールド



家紋は家の御守り

家紋:家の紋。家の紋章。家を代表する紋。定紋・本紋などの名称もあります。

上述した通り、家紋とは、「家」の「紋」のことを指します。海外の紋章のように個人を象徴するものではなく、家を象徴する紋章で、これは日本における「家」という概念が形になったものといえます。

では、「家」という概念はどのようなものでしょうか。もちろん建築物としての家ではありません。祖父母、親子、兄弟、孫.....このような血縁に基づく関係がパツと浮かぶと思いますが、その根本にはもっと原始的な強いものがあると考えています。

それは人間という生物の本能、子孫を残すということです。

科学が発展し、食料や医療をはじめ、多くの命に関わる問題が日々改善されている現代を生きる私たちには少し実感しにくいかもしれませんが、ほんの少し前の時代までは、命は簡単に消えてしまう儂いものでした。今では「強い雨だったね」、というレベルの雨でも、川が決壊し、田畑が荒れ、食糧難になり、同時に汚水による病気の蔓延などが起こり、命は簡単に失われました。そこで昔の人はどうすれば生き残れるか、どうすれば災害や病気などから自分や家族を守れるか、ということ在必死に考えたのでしょう。その結果として生まれたのが、恵みと災害をもたらす自然に対する崇拝であり、自然の豊かさと脅威をわかりやすく伝えるために生まれた、神への信仰ではないかと考えています。

そして、このような自然に対する崇拝や神への信仰を、「形」として表すものが生まれます。神具や祭具などが代表的なものです。加えて徐々にその「形」自体にも、命の安全を願う思いが生まれ、「守護」を求めたと考えられます。現代でも「家内安全」「交通安全」「安産祈願」などのお守りが必要とされるのは、そこに人間としての本能、生存への欲求や身近な人を守りたい、守ってほしいという願いがあるからではないでしょうか。

ここで本題に戻りますが、「家紋=家の紋」にも同様の願いが込められています。

「家紋」に採用されているモチーフには、必ずそれぞれの意義や意味があり、それらを吟味し、本質を貫く共通のワードを探すと、「守る」という願いに辿りつきます。子孫の命を守りたい、祖先の名誉を守りたい、神仏の信仰を守りたい、子孫の幸運を守りたい.....家紋に採用されたモチーフにより、何を「守る」か、ということは異なりますが、基本として、各家々が守りたいものが家紋には込められています。つまりシンプルに言い換えると、家紋とは「家を守る紋」であるということです。

少し長く記載いたしましたでしたが、家紋とは「家を守る紋」であることを知り、皆様の子どもやお孫さんにも、その意味や意義を伝え、家紋を後世に伝えていく一助になれば幸いです。

「家紋研究家・森本勇矢」より

制作実績

今までご依頼いただいたダイヤモンド家紋額の一例です。



丸に木瓜

ご子息に残す為



丸に橘

夫の退職記念



桔梗

嫁ぐ娘様に持たせる為



丸に違い鷹の羽

ご先祖様への感謝の為



丸に下がり藤

お家の繁栄祈願の為



丸に剣片喰

新築祝いのプレゼント



五七桐

自分の存在を後世に残す為



丸に立ち沢瀉

家名を残す為



組合角に四方木瓜

ご自宅のインテリア用

比類なきダイヤモンド家紋額



実用新案登録証



保証書



鑑別書

実用新案登録証

ダイヤモンド家紋額は、特許庁により正式に実用新案登録された独自の商品です。

保証書

ご依頼いただいたダイヤモンド家紋額に保証書をお付けいたします。

鑑別書

第三者の宝石鑑別機関による鑑別書を依頼することも可能です。(別途実費料金)

鑑別機関

G.E.lab 〒110-0015 東京都台東区東上野1-19-14 BM上野ビル2F

MAIL : info@gelab.jp TEL : 03-5826-4680



大切な家を守る象徴として

永遠の輝きの家紋

ダイヤモンド家紋額



家紋は家の御守り

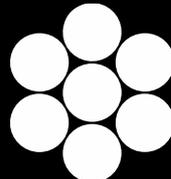
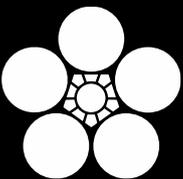
家紋とは「家の紋」

元々は名字と対でありました。

紋に選ばれたモチーフは

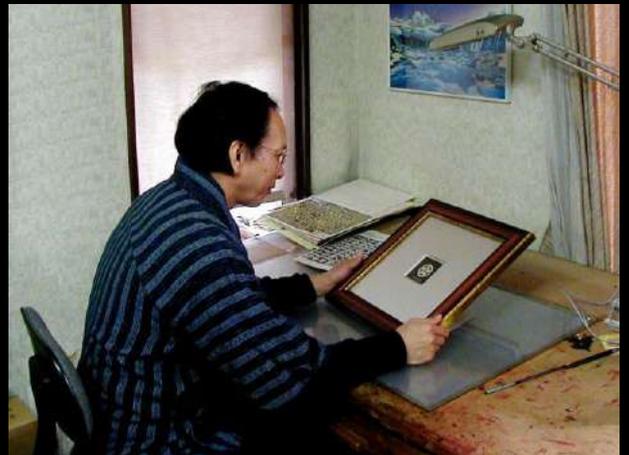
突き詰めてその意味を解くと

そこには「守る」という意味があります。



ダイヤモンド家紋額制作風景

ダイヤモンド家紋額は、一つ一つ職人による手作りで制作しております。



永遠の輝きの家紋

先祖代々受け継がれるもののひとつとして
家紋があげられると思います。

弊社では、『日本の家紋』のすばらしさを
より多くの人々に知っていただきたく、
それをダイヤモンドで上品にかつ豪華に仕上げ
お客様一人ひとりからの受注により
制作しております。

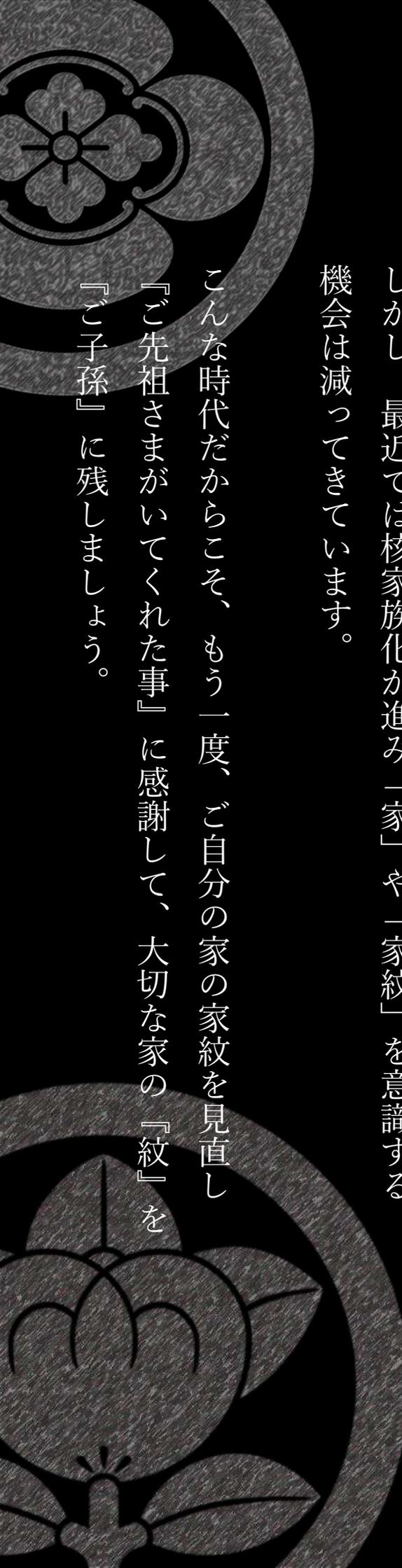


あなたの大切な家紋に『永遠の輝き』の
ダイヤモンドを散りばめることで、
大変美しく高級感のあるように仕上げ
永年にわたりその輝きを失うことのない
家紋額の最高級品です。



天然ダイヤモンド

ラフシェープカット



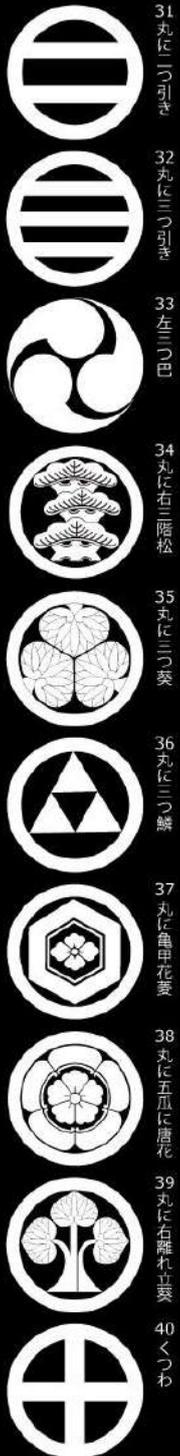
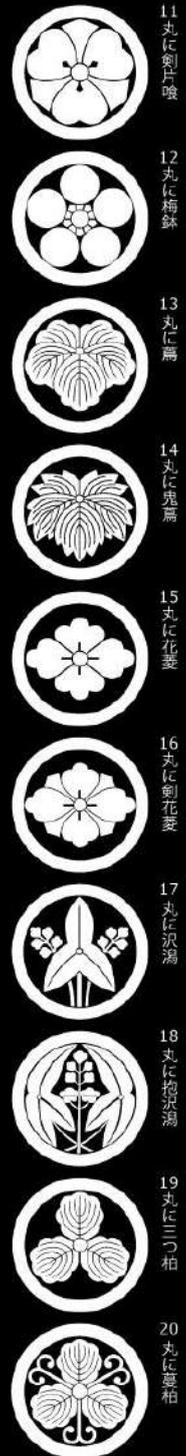
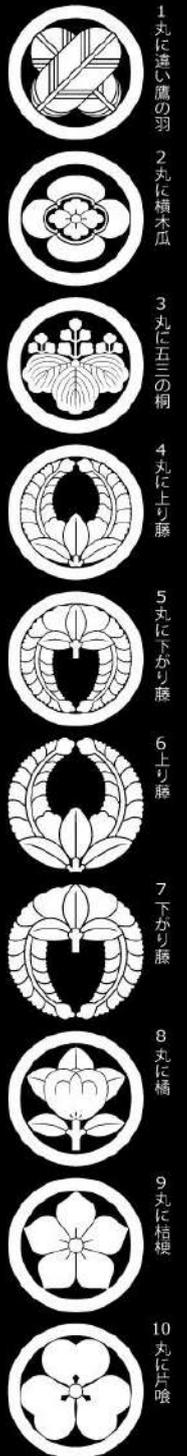
日本には、「家紋文化」があり、
今でもほとんどの家に家紋があるといわれているといわれています。
世界的にみても家ごとにロゴマークを持っている国は日本だけです。
日本人として家の紋章であるかもんを持っていることは
世界に誇れる文化とも言えます。

自分の家の家紋はいつの時代から、どのような経緯で生まれたのか、
由来をご存知でしょうか。自分の家の家紋にも由来があり、
長い歴史があります。

しかし、最近では核家族化が進み「家」や「家紋」を意識する
機会は減ってきています。

こんな時代だからこそ、もう一度、ご自分の家の家紋を見直し
『ご先祖さまがいてくれた事』に感謝して、大切な家の『紋』を
『ご子孫』に残しましょう。

代表的な家紋



最後に…

『ダイヤモンド家紋額』は、文化伝承、
祖先への感謝、あなたの存在価値、
そして子孫への祈願…。

祖先より受け継がれ家紋を後世に伝えていく
証の1つとしてご提案いたします。



ANIMAL ADAMAS

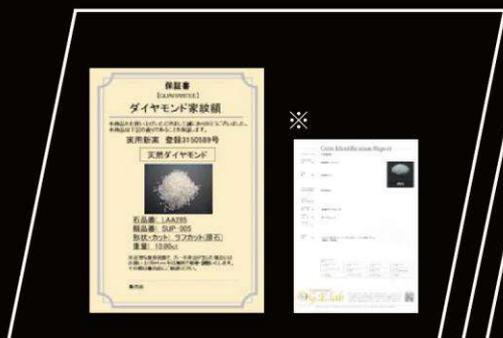
弊社では【ダイヤモンド家紋額】の他にも、
高級感そのままに愛するペットのデザインでお作り出来る
【ANIMAL ADAMAS (アニマル アダマス)】を展開しております。



皆様のペットへの深い愛情を

永遠の輝きに変えて

ご提供いたします



天然ダイヤモンド を使用

石言葉に『永遠』『純愛』の意味を持つ天然ダイヤモンドを使用し、職人の手によって一つ一つ丁寧に作り上げます。安心の保証書付。

※ 第三者機関の宝石鑑別書発行可能
(別途実費料金)



特許庁 実用新案登録済

ダイヤモンド額は特許庁により正式に実用新案登録された弊社独自の商品です。



フルオーダーメイド

お好きな額の種類・カラー、周りのカラー、カラット数をお選びいただき組み合わせることによって唯一無二の作品をお作りいただけます。